

## 栃尾地域のまちづくり要望概要

### <教育・福祉部会>

#### 総合福祉対策における検討委員会の設置

栃尾地域は長岡市の平均値より少子高齢化が進行しております。子どもからお年寄りが健康でいきいきとした生活を送るために、身近な地域できめ細かな保健・福祉・医療サービスが受けられることが必要です。

そのためには総合福祉センターもしくはセンター的機能を持つ窓口が必要と考えます。また、コミュニティ機能を備えた施設の必要性も考えられることから、検討委員会を設置し住民アンケートを実施するなど、整備計画の策定に係る予算措置を要望します。

#### 学童保育制度の拡充

現在実施している学童保育は、小学3年生までが対象となっています。同じ兄弟姉妹でありながら、小学4年生以上になると自宅に帰らなければなりません。新たに施設整備を要望するものではなく、学校の空き教室を有効に活用し、小学6年生までが制度を利用できるよう、長岡市独自の仕組みづくりを要望します。

#### 栃尾郷病院への継続支援

栃尾郷病院においても、全国の過疎地域同様、医師の不足と経営状況の悪化が懸念されます。栃尾地域唯一の総合病院であり、救急医療機関確保のためにも重要な施設と考えます。

地域医療の核として地域住民が安心して暮らすことができるよう、施設整備や医師確保のためのより一層の財政支援を要望します。

#### 安全安心のための街灯の設置

労働時間短縮による余暇時間の増加や学校週5日制の定着などで、競技としてはもとより、趣味や健康増進のためにスポーツを楽しむ人は増加傾向にあります。その中で小中学校の体育館は社会体育施設として重要な役割を担っております。夜間の利用がほとんどであり、社会人はもとより子供たちが安全かつ安心して施設を利用できるよう周辺の街灯整備を要望します。

#### 国体開催に伴う職員補充及びおもてなしの体制支援

平成21年度の本国体開催に向けて、栃尾地域国体協力会を結成し、機運の高まりに努めています。

定員適正化計画の遂行等で職員削減が余儀なくされている昨今、大会開催に向けては国体推進室が重責を担っておりますが、地域協力会との調整などの業務量が増大するものと思われれます。よって、栃尾地域担当職員を明確にし、補充を要望するものです。

さらに、会場である中央公園周辺を来訪者の「おもてなし」の拠点として、栃尾地域の情報発信や物産販売の場として地域協力会等が活動できるよう、体制の確立と支援を要望します。

### < 建設・農林部会 >

#### 災害に強い幹線道路、生活道路の整備促進

過去の大災害の教訓から、単数の路線に頼ることは地域が孤立する要因になります。そこで地域間道路を複数確保することが必要です。災害時に代替道路となる路線の一層の整備促進を提案します。また、緊急時の交通誘導を円滑にするために電光掲示板等の整備も併せて進めることが適当です。

#### 広域観光に対応する道路整備促進

平成 21 年度「天地人」NHK 放映により、直江兼続ゆかりの地域が観光ブームとなります。長岡地域と各地域を結ぶ観光ネットワークの道路整備が急務です。

特に南会津地域との交流を念頭におき、長岡地域を結ぶ幹線道路整備の促進の取り組みの強化を望みます。

#### 謙信の里づくりと商業・農業振興

謙信の里づくりは平成 23 年度を目途に今年度から整備が開始されたことから、謙信の古里としての質の高い施設整備を期待するところです。

さらに、観光施設整備と併せて、観光客をターゲットにした商業の活性化策と安全な食の提供などによる農業の振興策を講ずる必要があります。

#### 「こども夢ひろば」構想の事業化と整備促進

栃尾宮沢地内の道の駅 R290 とちおと産業交流センターおりなすの対岸(一級河川刈谷田川右岸)に、既存の施設と一体となったにぎわいの場として、自然体験や自然観察の素晴らしさを学び、子供たちの豊かな知性と優れた感性を育む「こども夢ひろば」構想の事業化。

## 大平山を舞台とした「市民の森づくり」の推進

豊かな自然に恵まれた大平山を多くの市民が訪れ、森林の持つ多面的な機能を享受しつつ、森林を共有の財産として、その整備保全に取り組むことができるよう、特に教育分野における子供たちの林業体験の場としての活用や癒し効果を活用したメンタルヘルス、スローライフ、森林散策など健康分野による利用などを検討していただくとともに、多様なニーズに対応できるよう道や駐車施設などの整備を計画的に進めていただきたい。

## 豊かな自然清らかな湧水に恵まれた「栃尾ブランド」の確立と情報発信への支援

- ・豊かな山の宝物を栃尾ならではの商品に育てていくため、飲食業者や食品製造業者との情報交換の機会を提供する場が必要です。
- ・学校給食は、単なる栄養補給の場から地域の食材を活用した食育の場へと大きく転換しようとしています。自給率向上の観点からも、学校給食には、おいしい米をはじめとした地場産農産物の一層の活用を推進します。
- ・これまで取り組んできた江戸川区の林間学校受入を生かし、江戸川区民との都市農村交流をすすめながら栃尾ブランド農産物の有利販売を展開していく活動への支援をお願いします。

## 豊かな山のバイオマス「間伐材」を活用した木質ペレット等の製造と総合的な活用推進

森林から生産される木材は長岡市にとって貴重な資源であります。このため、間伐材などについても循環型エネルギーとして活用するため、木質ペレットや薪を製造し、活用する仕組みを構築する必要があります。

とりわけ木質ペレットの製造に踏みきるには、製造プラントへの支援だけでなく、地元で継続的に使用する仕組みづくりが前提であります。

また、昨今の原油高対策もあり学校や公共施設などでの使用や園芸用ハウスボイラーのペレットボイラーの買い替え支援、地元企業での家庭用ストーブ製造や製造されたペレットストーブ購入への助成など、バイオマスエネルギーを活用するための総合的な活用推進策の取り組みをお願いします。

### <産業・観光部会>

#### 栃尾観光協会の機動力強化のための対応

栃尾地域では、地場産業が低迷を続ける中、今後は、観光資源を活用して活性化を目指すものであります。

民間主導型の推進の観点から、栃尾観光協会が中心となって事業実施するこ

とが望ましいが、現状では、観光協会自体の機動力が不足していることから強化が必須です。資金的又は人的支援を増力することで強化が図られると考えます。

栃尾地域には、道の駅を会場としたとちお自慢市、街道まつり、遊雪まつり、市街地を会場とした諏訪神社春季大祭、うま市、秋葉の火祭り、とちお祭り、てまり祭り、雁木あいば、その他集落地域のまつりであるものの観光として誘客を図ることのできる杜々の森名水茶会、あぶらげまつり、しだれ桜まつり、裸押し合い大祭、ほだれ祭りなど数多くの祭があり、守門岳雪庇ツアーや道院高原、杜々の森名水公園などの景勝、名勝地、さらに上杉謙信ゆかりの地であることから数多くの文化財があります。ふるさと創生基金を活用して、ボランティアガイド養成を行っています。これらを有効的に活用して、観光戦略を展開することで、地域に活気を取り戻すことを目的とするものです。